

「大切なあなたの健康のために」



# 手間なく受けられる 高精度ながんリスク検査

マイシグナルは、少しの尿で一度に最大7がん種の  
リスクを調べられる新しいタイプの検査です。

リスクのある  
がん種を特定



自分の健康、後回しにしていますか？

痛い、苦しい  
検査は嫌だから  
避けてきた...



家族ががんにかか  
っていないか  
心配

喫煙・飲酒する  
ことが多く、がんの  
発症リスクが高い



がん家系で  
心配だから、一歩先の  
対策をしたい...

## マイシグナル®の3つのポイント

1

一度に最大7がん種の  
リスクを判定。

大腸・肺・胃・乳・すい臓・食道・卵巣の  
7がん種をまとめてリスク検査。



2

リスクのあるがん種を、  
がん種別に特定。

万が一高リスクだった場合にも、  
次に受けるべき検査が分かるので  
時間を浪費しません。



3

がんリスクを早期発見。

尿に含まれるマイクロRNAを解析して  
検査する、感度の高い検査のため  
がんリスクの早期発見に適しています。



# 尿に含まれるマイクロRNAを解析して検査する、高精度な検査です

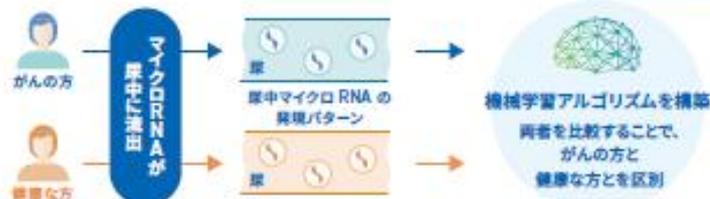
## ① マイクロRNAとは？

マイクロRNAは、がん細胞が周囲に放出するメッセージ物質です。がんの発生や成長に重要な役割を果たしていることが、最新の研究で明らかになりました。

このメッセージを読み解くことで、がんのリスクや、がんがどこにあるかを判定する検査を開発しました。

大学病院・がん研究センターとの共同研究で実現した、尿を用いた高精度ながんリスク検査です。

共同研究先  
慶応義塾大学  
東京慈恵会医科大学  
北海道大学・  
福川医科大学など



## マイシグナル®の検査施設

マイシグナル®の検査を行う「Craif中部検査センター」は衛生検査所として都道府県知事の登録を受けております。



## 手間が限りなく無いから受けやすい

検査前の食事制限・  
運動制限はありません



尿を  
採るだけ！

簡単3ステップの  
検査フロー

分かりやすく充実した結果票で、ご好評いただいております！



生活習慣  
アドバイスブックも  
ついてくる



## 検査メニューについて

		セットに含まれるがん種						
		大腸	肺	胃	乳房	すい臓	食道	卵巣
オール・イン・ワン	男性	●	●	●		●	●	
	女性	●	●	●	●	●	●	●
消化器がんセット		●		●		●	●	
3大がんセット		●	●	●				
女性がんセット					●			●
単がん種受検		○	○	○	○	○	○	○

※検査種類によって受けられるセットが異なりますので、詳細は検査種類にお問い合わせください

### 注意事項



妊娠中、生理中の方、また20歳未満の場合は本検査は受検できません。



本検査は、医療行為として、がんに罹患しているかどうかの「診断」に代わるものではありません。また、がんの再発、転移について確認するための検査ではありません。

### 本検査に関するお問合せ

TEL Craif  
サポートセンター  
050-1754-2473

10:00-16:00  
(土・日・祝日、年末年始除く)

1) S. Taki, K. Nishikimi, A. Matsuzaki, S. Otsuka, K. Takayama, Y. Chen, H. Yamaguchi, T. Yasui, Y. Ichikawa, M. Shou, Urinary MicroRNAs as Biomarkers for Early Detection of Ovarian Cancer. *ESMO*. 2023 Sep. Paris, France.

2) Grandi G, Ferrero AM, Tosa A, Vragliano A, Friso S, Facchinetti F, Corleai L, Casarini S, De Iaco P. The generally low sensitivity of CA 125 for FIGO stage I ovarian cancer diagnosis increases for endometrioid histotypes. *Minerva Med*. 2020 Apr;111(2):123-140. doi: 10.23736/50026-4896.20.06474-S. PMID: 32338942.

※本検査はがんの人の人と健康な人の尿中に含まれるマイクロRNAの違いを統計的に計算することによりがん発症リスクを調べるスクリーニング検査です。診断行為として、がんに罹患しているかどうかの「診断」に代わるものではありません。